

宮城県発達障害児者支援開発事業（厚生労働省モデル事業）

▽ 現に保育士等として従事している方々に、効果的な発達障害支援を行うための専門知識やスキルを保護者と協働しながら習得いただく仕組みづくりを行う

事業の具体イメージとねらい
【H28年度予算額 7,127千円（国庫補助1/2）】

社会資源が限られる地域でも
有効な仕組みづくりを検討

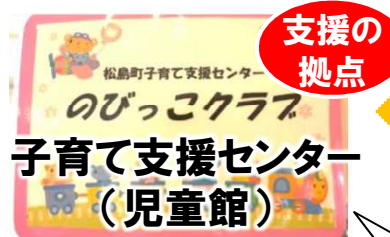


保育所・幼稚園



現任の保育士・
幼稚園教諭等

フォローアップ教室



発達の気になる
子どもとその親

幼児健診

代替保育士等を
派遣(費用負担)



宮城県



現任者のスキルアップ
(保護者との連動)

初級発達障害
支援者養成講座
修了証書



メンター育成
(先輩保護者によるサポート)

早期療育による二次障害の予防と地域における発達障害の相談体制構築をめざす

事業の“3本柱”(特徴等)



健診ツールの導入支援

幼児検診(1歳6か月・3歳等)で使用するアセスメントシートに**独自の健診ツールを導入して、発達の良い子どもを「遊びの広場」へ促す**

通称「のびっこクラブ」



現任者スキルアップ研修の支援

保育士・幼稚園教諭・保健師等で**発達の良い子どもの支援課題を「遊びの場」を通じて検討する**



ペアレントメンターの育成支援

発達の良い子どもを育てた経験のある「**先輩保護者**」が、子育てに悩む母親等のサポーターとなるために必要なスキルを研修で習得する

スケジュール

年月	実施内容
H28年8月	企画・推進委員会 現任者スキルアップ研修 座学講座開始(全5回)
9月	健診用アセスメントシート 活用検討会開始(全3回) 現任者フォローアップ研修 「のびっこクラブ」開始(全10回)
11月	ペアレントメンター研修開始 (全2回)
29年3月	企画・推進委員会(事業評価)

成果物の活用

- **疑似学習を可能とする教材づくり**
(支援実践を撮影・映像で残す)
- **県内外の類似地域に向けた情報発信**